

SDGsの時代に、
日本の農畜産物が持続可能な価格で
売られていないのはなぜだろう。



安さは正義だ。

そんな風潮の中、なんとか頑張ってきた日本の農畜産業。

もう限界です。

どうか、高騰し続ける生産コストに見合う

持続可能な価格を認めてください。

それが食の安全・安心を守ることにつながり、

日本の農家と消費者、そして食の流通に関わるすべての人の

未来を守ることにつながると信じています。

これからも持続可能な農業経営ができるよう、

ぜひ、この問題を一緒に考えてください。

国産を
食べるよろこびを
これからも。



詳しくはこちらをご覧ください
<http://www.jinn.co.jp/kyokai/>

全農

収穫をよろこべない。
こんな悲しい
仕事はありますか。

いま、様々な世界情勢の影響で、
かつてないほど高騰している農畜産物の生産コスト。
それが価格にしっかりと反映できていないことを知っていますか？
みなさまの食卓に安全・安心でおいしい食べものを届けたい。
その一途でこれまでやってきましたが、もう限界です。
これからも収穫や生産のよろこびを感じたい。
日本の食を支えているという誇りを胸に、この仕事を続けていきたい。
これから先も、国産の農畜産物が食べられる日本であるために。
どうか、これからも持続可能な農業経営ができるよう、
生産コストに見合った農畜産物の価格を認めてください。
そして、私たちが愛情をかけてつくったものを食べることで、
日本の農家を応援してください。

国産を
食べるよろこびを
これからも。



詳しくはこちらをご覧ください
<https://www.sanmei.or.jp/faq/0301/>

全農

私たちは笑顔で食べているのに
農家さんが泣いていたら、
いやだなあ。

毎日食べている新鮮でおいしい食べもの。
世の中のあらゆるものが値上がりしている中、
農畜産物がそこまで値上がりしていなかったのは、
農家さんが我慢しているから。だったのですね。
私たちが食べて笑顔になるだけでなく、
それを届けてくれる農家さんも笑顔でいてほしい。
安全・安心でおいしいものをつくり続けてもらうために
私たちができることは、
国産のものを選ぶことくらいかもしれないけれど、
これからも変わらず、おいしくたくさん食べることで
農家さんを応援したい。
それが、子どもたちの未来に国産の食べものをつなぐことになる。
そう信じています。

国産を
食べるよろこびを
これからも。



詳しくはこちらをご覧ください
<http://www.sanich.jp/pmkajisan/>

全農

The image is a two-page spread from a Japanese magazine. The left page shows a farmer in a dark jacket and cap, kneeling in a field of dark soil, holding a small amount of soil in his hand. A text box on the left side of the page contains Japanese text. The right page shows a young child with dark hair, wearing a light blue sweater with a red heart, eating a white rice ball. A glass of milk and a plate of food are visible on the table. A text box on the right side of the page contains Japanese text. The overall theme is about food, farming, and the connection between the two.



詳しくはこちらをご覧ください。
<http://www.270mold.co.jp/kagaku/>

国産を 食べるよろこびを これからも。

